

にのみやまちとしょかん 図書館だより

2007.5.15 発行

(奇数月 15日発行)

紙面を一部
リニューアル!

第27号



特集

とくとみそほう

徳富蘇峰記念館 ~ 蘇峰没後50年 ~

図書館のテラスから見て梨畑を挟んだ山の裏手にある、徳富蘇峰記念館をご存知ですか? 「蘇峰堂の梅林」といえば、かながわの花の名所100選にも選ばれた梅の名所でもあります。

徳富蘇峰記念館は、蘇峰の晩年の秘書であった塩崎彦市氏によって二宮の塩崎邸内に建てられました。明治・大正・昭和にわたって言論や出版など広い分野で活躍した徳富蘇峰。今年は没後50年にあたります。

今回の特集では、蘇峰の偉業の数々が遺されている徳富蘇峰記念館について紹介します。

記念館について

徳富蘇峰記念館は、昭和44年(蘇峰の13回忌)の5月、蘇峰の晩年の秘書を務めた塩崎彦市氏によってその邸内に建設されました。塩崎氏は早くより蘇峰を敬慕し、戦前・戦中・戦後を秘書として身近に侍し、蘇峰の逝去に至るまで苦楽を共にしました。その誠意に対し蘇峰は、書簡・蔵書・揮毫・原稿・遺品の多数を塩崎氏に託しました。塩崎氏は、蘇峰の偉業と精神が新しい時代の青年によって研究されることを念願し、蘇峰から託された多くの近代史の資料を公開する目的で、記念館を建設しました。塩崎氏亡き後は、遺族が「財団法人徳富蘇峰記念塩崎財団」を設立し、神奈川県で17番目の博物館として現在に至っています。現在、竹越起一氏を理事長に、学芸員高野静子氏ほか2名の職員で運営しています。



徳富蘇峰(1863-1957)
ジャーナリスト、歴史家、評論家。
小説家徳富蘆花は弟。

主な収蔵品

- ・ 書簡 約4万7千通(差出人約1万2千人) 明治大正昭和三代にわたる政治家、軍人をはじめ、各界の要人・文化人・学者からの書簡(勝海舟・新島襄・植木枝盛・山県有朋・松方正義・大隈重信・坪内逍遙・吉野作造・斎藤茂吉・夏目漱石・山本五十六・徳富蘆花・中江兆民・与謝野鉄幹・与謝野晶子・高浜虚子・溥儀など)
- ・ 蘇峰の揮毫・原稿など
- ・ 『近世日本国民史』100巻『蘇峰自伝』など著書約300冊
- ・ 資料として使用された歴史書・洋書・古文書など約1万冊
- ・ 遺品(眼鏡・鞆・机・筆・手帳・下駄など)
- ・ 美術品(川端龍子・橋本雅邦・平福百穂・浜田庄司・吉田初三郎などの作品)

< 徳富蘇峰略年譜 > (年齢は満年齢)

1863年(文久3)	0歳	1月25日、徳富一敬・久子の第5子長男として、熊本に生まれる。本名猪一郎。
1876年(明治9)	13歳	熊本洋学校退学後、東京英学校に通学。満足せず新島襄の同志社英学校に移る。
1882年(明治15)	19歳	大江義塾を開き、史学、経済学等を教える。
1884年(明治17)	21歳	妻静子を迎える。その後4男6女をもうける。
1886年(明治19)	23歳	『将来之日本』を刊行。一家で上京。
1887年(明治20)	24歳	民友社を設立し、『国民之友』を創刊。
1890年(明治23)	27歳	『国民新聞』を創刊。藩閥政治を批判。
1896年(明治29)	33歳	深井英五と1年2ヶ月かけて欧米を漫遊。
1897年(明治30)	34歳	松方内閣の内務省勅任参事官に就任。
1911年(明治44)	48歳	桂太郎の推薦で貴族院議員に勅撰される。
1913年(大正2)	50歳	桂の死後政界から離れ、新聞事業に専念。
1923年(大正12)	60歳	『近世日本国民史』で恩賜賞を授与。
1943年(昭和18)	80歳	文化勲章を授与。
1952年(昭和27)	89歳	『近世日本国民史』100巻完成。
1957年(昭和32)	94歳	11月2日、熱海の晩晴草堂で逝去。

記念館のみどころ

なんとといっても蘇峰宛の4万7千通にもものぼる書簡です。一人の人物に宛てられたこれだけの数の手紙が一箇所にまとめて保管してあるのは、世界的にも珍しいことです。『徳富蘇峰宛書簡目録』をさっとながめただけでも、私たちが知っている政治家や文豪などの名前が次々と出てきて、その顔触れの多彩さに圧倒させられます。

2階の特別展示室ではそういったたくさんの書簡が、毎年テーマを替えて、関連する様々な資料とともに展示されています。今年度は「書簡と資料からみた大東亜戦争展」というテーマで公開中です。

近代日本を知る貴重な資料が豊富なこの徳富蘇峰記念館には、国内外から研究者を中心に年間約1000人の人が訪れています。記念館の出版物である『続蘇峰とその時代』と、前述の『書簡目録』はこの記念館でしか入手できません。

参考資料:『徳富蘇峰記念館パンフレット』、『財団法人徳富蘇峰記念塩崎財団所蔵 徳富蘇峰宛書簡目録(N.A1)』
徳富蘇峰記念館ホームページ(<http://www2.ocn.ne.jp/~tsoho/>)

3F 研究室・収蔵室

2F 特別展示室
(毎年展示替)1~11月

1F 常設展示室
(蔵書・原稿・遺品)

徳富蘇峰記念館

住所 : 二宮町二宮 605
電話番号 : 0463-71-0266
開館日 : 月・水・金曜日
(梅の時期は土、日も開館)
開館時間 : 10時~16時
入館料 : 一般500円
 中高生200円
 小学生以下無料



1階常設展示室の様子

新しく入った本 CD DVD

2007年3～4月新着分より



画像
なし

『町工場で、本を読む』
(小関智弘著 / 現代書館 / 2006.11 / 019.9 ㊦)
旋盤工として町工場で働きながら現場の話を書き続けてきた著者が、新聞、雑誌等で発表した30年にわたる書評を収録。戦後の時代を反映している興味深い一冊です。

画像
なし

『夢の実現 - ツキの10カ条 - 』(北原照久著 / アーティストハウスパブリッシャーズ / 2006.10 / 159キ)
ブリキのおもちゃ博物館を開館し、なんでも鑑定団でおなじみの著者が、自らが成功を収めた「夢実現のための秘策」を教えてくれる夢のような一冊。

画像
なし

『日本名風景案内』
(フチグラパブリッシング / 2006.11 / TB 291.0 ニ)
日本の名風景103ヶ所を便利な地図とデータ付きで紹介。風景と共にコラムも充実。ページをめくると日本美しい風景に出会え、訪れてみたくありません。

画像
なし

『地球の食卓 - 世界24か国の家族のごはん - 』
(ピーター・メンツェル(ほか)著 / TOTO出版 / 2006.5 / 383.8)
「地球家族」シリーズの第三弾。24カ国を巡って集めた、30家族の一週間分の食材600食を大公開。いろいろな国の食事情が一目でわかります。

画像
なし

『海老名香葉子昭和暮らしの知恵袋』
(海老名香葉子監修 / 家の光協会 / 2007.1 / 590 I)
林家三平の奥さんが礼儀作法から台所や掃除、洗濯、健康法まで、昭和の暮らしの知恵を豊富なイラストと共に紹介。楽しくて役に立つ知恵が満載です。

画像
なし

『もう一日』(ミッチ・アルボム著 / 日本放送出版協会 / 2007.2 / 933 7㊦)
酒に溺れ家族に愛想をつかされたチャーリーは、自殺を決意し8年前に亡くなった故郷の母の家に向かう。そこで彼が出会ったのは…?母の愛情の深さを感じさせてくれる小説です。

録音 CD

画像
なし

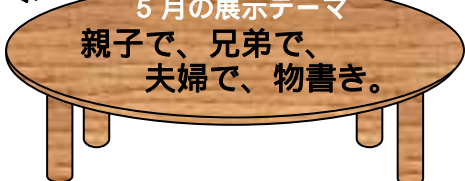
『バンド天国 - SUPER - 』
(THE BLUE HEARTS(鮎) / 2枚組 134分 / 290 B)
80年代に起きた空前のバンドブーム。そのバンドブーム時代にヒットした曲、当時を代表するユニコーンや爆風スランプなどの代表曲を集めた作品です。

映像 DVD

画像
なし

『気候大異変 - NHKスペシャル - 』
(2枚組 103分 / 451 キ)
昨年放映された「NHKスペシャル 気候大異変」をDVD化。地球温暖化がもたらす異変を最新の科学を用いて解明していきます。

展示テーブルから



画像
なし

今月の紹介本
『父・藤沢周平との暮らし』
(遠藤展子著 / 新潮社 / 2007.1 / 910.2 フ)



王冠のギザギザは
21個

今月は、作家の方たちの家族関係から本を集めてみました。こんなつながりが...という発見や作品中の家族の描写など、色々な切り口で楽しんで頂ければと思います。

その中でご紹介するのは『父・藤沢周平との暮らし』です。没後十年を経て尚、映像化や新装版・作品集の出版など、更に読者を拡げている藤沢周平氏。本書では、男手ひとつで幼い娘を育てていた頃の奮闘や、父としての考えを説きつつ育ちゆく娘を見守るなど、作品にも通ずる家庭人としての日々の暮らしが伝わってきます。「普通が一番」が口癖だったのは、平凡な生活を守ることがどれだけ難しいかを身をもって知っていたから、と筆者は語ります。それは多くの昭和の父親の姿であり暮らしであった、と思えます。

ビール瓶などの王冠のギザギザの数は、21個と決まっている。3の倍数であるこの21という数字になったのは、3点で締めるのが力学的に最も安定している、加工しやすい、外れにくく、栓抜きで抜けやすい、という理由から。このギザギザ、日本だけでなくアメリカ、ドイツなどでも同じ21個。ちなみに王冠のサイズは小瓶・中瓶・大瓶どれでも同じ。

平成19年度 主な図書館事業

資料購入費 図書・視聴覚資料（CD・DVDなど）約1190万円
（年鑑・白書等含む）
新聞・雑誌 約170万円

主な図書館事業

インターネット（図書館ホームページ）による予約受付開始（10月～）
録音図書ボランティア活動・研修会
二宮ゆかりの人物調査
地域資料展示（2階展示ケース） 年4回入れ替え
団体貸出サービス（巡回） 年4回 4ヶ所
図書館だより発行 年6回
雑誌リサイクルコーナー 毎月
子ども向け行事
わらべうたであそぼう！ 毎月
おはなし会
ちいちゃいおはなし会 毎月
おおきいおはなし会 毎月
おはなし会とおりがみあそび 毎月
人形劇 年1回
こども映画会 年1回
大人向け行事
図書館講座 年1回
図書館協議会 年2回
二宮町図書館・学校図書館連絡会議 年2回

ベストオーダー

2007年 3月～4月

この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 一瞬の風になれ(全3巻) / 佐藤多佳子
- 2 ひとり日和 / 青山七恵
- 3 鈍感力 / 渡辺淳一
- 4 名もなき毒 / 宮部みゆき
- 5 陰日向に咲く / 劇団ひとり
- 6 夢を与える / 綿矢りさ
- 7 氷の華 / 天野節子
- 8 水上のPASSACALIA / 海野碧
- 9 家日和 / 奥田英朗
- 10 東京タワー / リリー・フランキー

【児童書 ベスト5】

- 1 バッテリー (全6巻)
- 2 デモナータ 4幕 ベック
- 3 ハリー・ポッターと謎のプリンス 上・下
- 4 天と地の守り人 第1部
- 5 タイムカプセル

二宮ゆかりの人物

みやた ふみこ
宮田 文子

〔 文筆家・新聞記者
女優・デザイナー 〕

「当時私は二宮に住んでいて、そこから車で隔日に東京通いをしていました。朝八時に二宮を出ると、新橋駅へ十時に着く。駅にはちゃんと資生堂から人力車が迎えにきている。(中略)その当時私は二宮で何百という帽子をつくった。そしてそれらの帽子で東京、大阪、京都の大丸百貨店で、子ども帽子の展覧会をした。」（『わたしの白書』より）

今回は、第24号で紹介した小説家武林無想庵と結婚し二宮で一時期暮らしていた宮田文子をご紹介します。

宮田（旧姓中平）文子は明治21年松山市生まれ、天性の美貌と才知の持ち主でした。平凡な生活には飽き足らず数度の結婚を経験し、少女時代から憧れていた新聞社の婦人記者や女優などの職にも就きました。

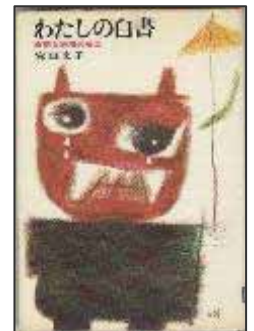
大正9年鵜沼海岸の東屋旅館で、武林無想庵と知り合い結婚、渡仏。パリ滞在中に娘の為に洋裁の稽古をはじめました。大正11年に帰国後、文子の実家二宮で娘と無想庵とともに暮らします。その頃日本でも子供服が流行しはじめ、それに目をつけた資生堂が文子を子供服課の主任として高給で迎えいれました。

一年半ほどで資生堂を退社した文子は、二宮の自宅の一室を帽子工場にし、近所の娘たちに縫製を教えながら娘イヴォンヌをモデルにして各地で展覧会を開いていましたが、大正12年9月関東大震災に遭い、再びフランスへと渡りました。

その後無想庵と離婚した翌年の昭和11年、貿易商の宮田耕三と結婚をし、豊かな財力で子供服、婦人服ばかりか紳士服の縫製もマスターし、さらにレストランを開店させるなど手広く事業を起こしました。冒頭で紹介した『わたしの白書』

は昭和40年暮れ、最愛の娘イヴォンヌを亡くし、気が衰えてきたことを実感した文子が自身を励ますために書いたものです。しかし翌昭和41年6月25日、出版記念会の目前に脳出血で倒れ78歳の生涯を閉じました。

文子は明治生まれの女性でありながら、現代でも珍しいほど精



『わたしの白書』

力的に行動し何事にも前向きに生きた女性でした。無想庵との結婚生活は長くは続きませんでした。文子と交流のあった宇野千代が著書『生きて行く私』の中で「ブリュッセルから病院まで駆けつけた宮田耕三は、文子の小さな体を抱き上げ、号泣した。私はそのとき、男が号泣する姿を始めて見て、どんなに感動したことか。」と書いているように、最後は良い伴侶に出会い幸せだったと思われま

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『わたしの白書 - 幸福な妖婦の告白 -』(宮田文子著 / 講談社 / 1966 / NY 37)、『「日本株式会社」を育てた男 - アントワープのサムライ商人 -』(軍司貞則著 / 文芸春秋 / 1985 / 289.1 37)、『生きて行く私 上』(宇野千代著 / 毎日新聞社 / 1983 / 910.2 1)、『あなたみたいな明治の女(ひと)』(群ようこ著 / 朝日新聞社 / 1999 / 281.0 4)

お知らせ・お願い

2007年4月より、下記の新聞(12紙)の購読を中止いたしました。
 東京新聞・日刊工業・日経金融・日経産業・日経流通・サンケイスポーツ
 International Herald Tribune・The Japan Times Weekly・Asahi Weekly
 統一日報・住宅新報・毎日小学生新聞

2007年4月より、82誌の雑誌の購読を中止いたしました。
 購読タイトル数212誌(2007年3月末時点)のうち、82誌の購読を中止
 しました。詳細は館内掲示や図書館ホームページ等でご確認ください。



4月よりAV資料の所蔵リストが更新されました。
 開館当初から2007年3月31日までに受入をした資料のリストです。形態
 別、ジャンル別に載っています。新着リストとあわせてご利用ください。

これから利用登録をされる方へ
 利用登録(利用カードの作成)の際には、住所・氏名の確認を行なってい
 ます。保険証・免許証等、住所と氏名が確認できるものをお持ちください。
 確認書類がない場合は、利用登録ができませんのでご了承ください。利用
 カードの再発行時も同様です。なお、利用カードの作成から5年が経過す
 ると、登録更新手続きが必要です。

行事

くわしくはお問い合わせください。

5月							6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5					1	2							
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	8	9	10	11	12	13	14
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	15	16	17	18	19	20	21
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	22	23	24	25	26	27	28
														29	30	31				

-  第2水曜日
ちいちゃいおはなし会
-  第3土曜日
おおきいおはなし会 小学生から
おはなし会とありがとうあそび
-  第3金曜日
わらべうたであそぼう!
-  第4日曜日
雑誌のリサイクルコーナー

展示テーマ

4月 | 一般 / 『源氏物語を楽しむ(図書資料編)』
 児童 / 『子どもの「読書月間」』
 AV / 『源氏物語を楽しむ(AV資料編)』

5月 | 一般 / 『親子で、兄弟で、夫婦で、物書き。』
 児童 / 『みどり』

特設展示

3月・・・『池田晶子さんをしのんで』
 『祝 石井桃子さん 100歳』(児童特設)

4月・・・『城山三郎さんをしのんで』
 『図書館に親しむ 読書を楽しむ』

地域資料コーナー 展示ケース

4月～6月・・・『二宮ゆかりの人物 津田 信』
 7月～9月・・・『二宮ゆかりの人物 梅田晴夫』

書庫の本紹介コーナー

4月～6月・・・『時代小説 女性作家編』

利用者の声 Q&A

Q：本の貸出期間の延長は、図書館に本を持っていかないとできませんか？

A：4月4日よりカウンターに本をお持ちにならなくても延長できるようになりました(利用カードは必要です)。電話でも受付します。またパスワードをお持ちの方は、図書館ホームページ、館内利用者用検索端末からご自分で延長することもできます。ただし延長は、次の予約がなく、返却期限を過ぎていない場合に1度のみ可能です。詳細はホームページをご覧ください。かカウンターでおたずねください。

ひとつだけ ~編集後記にかえて

カウンターに座るようになって6年が経ちます。これまでカウンターを通して、いろいろなものを見てきました。ついこの間までお母さんの手を握りトコトコ歩いていた子が、今では一人で本を借りに来るまでに成長した姿を見ると、6年という時間を実感します。この図書館だよりも号を重ねるごとに「成長」して、より一層みなさんに楽しんで読んでいただける紙面づくりを心がけていきたいと思っています。

編集・発行 二宮町図書館
 住所 二宮町二宮1240-10
 ☎ 0463-72-6913
 ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>



図書館だよりテープ版もあります! お問い合わせください。